

大会の参加に当たって

- (1) 各所属の学校が参加を許可しない場合は、大会への参加を認めない。
- (2) 入館前 7 日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (3) 入館前 14 日間において、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (4) 「健康観察表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は、入館できない。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (5) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOA を入れている場合は、電源を ON にした上で Bluetooth を有効にすること。
- (6) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際は、マスクを外してもよい。招集所で外したマスクは、服のポケットか袋に入れること。また、紛失などに備えて予備のマスクを持参すること。
- (7) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (8) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2 m 以上）をとって行動すること。
- (9) レース終了後、マスクを着用してから移動すること。すぐにマスクを着用できない場合は、スタートサイドの壁際で呼吸を整えてからマスクを着用すること。
- (10) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと（レース直前のスタート台付近や、プールでの練習時）。
- (11) 食事は、スタンド観客席で、人との距離を 2 m 以上保ち単独で摂ること。
- (12) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (13) 以下のものについては、会場に持ち込んではいない。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー（ドリンクディスペンサー）
 - ・ マッサージベッド（トレーナーズベッド）、アイシングバス、トレーニングバイク等、使用するために設置場所を必要とするトレーニング、コンディショニング用具
 - ・ チームで共用するストレッチマット（ヨガマット）、ブルーシート、毛布（ブランケット）等の敷物、チューブ、バランスボール等の運動用具
（本項に記載した敷物と運動用具は、他者と共用せず、個人専用で使用する物は持ち込んでよい）
 - ・ メガホンおよびエアホーン等の鳴り物、横断幕（各校 1 枚の部旗は除く）、のぼり
 - ・ 練習時のパドル・コード類（使用時に他人の補助を要したり、柱や手すり等に引っ掛けたりする物）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための遵守事項

国や自治体、主催者や施設管理者が定める措置や指示に従わず安全を確保できないと判断した場合、その内容によって参加者に対する本注意事項の厳格化、当該者および所属する学校の出場取り消し、競技会を中止するなどの措置を取る。

出場選手の他、当日入場するチーム関係者全員が本資料に記す遵守事項に従い、行動すること。

1. 日程

	第1日目	第2日目	備考
開 門	9:30	8:45	
マネージャー会議	10:00	9:15	2階ロビー, 5分前より受付
W-up (メインプール)	~11:00	~10:15	
午前競技開始	11:15	10:30	招集は通告にて案内
午前競技終了	13:21	12:35	
W-up (メインプール)	~14:30	~13:30	
午後競技開始	14:40	13:40	招集は通告にて案内
午後競技終了	16:19	16:03	終了後, クールダウン可
閉 門	17:00	16:30	

計時員は下記の通りとする。両日とも、午前競技開始 20 分前に記録室前に集合すること。

レーン	第1日目・第2日目
0レーン	大阪体育大学
1レーン	関西大学
2レーン	天理大学
3レーン	関西学院大学
4レーン	大阪公立大学
5レーン	びわこ成蹊スポーツ大学
6レーン	近畿大学
7レーン	大阪大学
8レーン	同志社大学
9レーン	立命館大学

2. 競技について

- 本競技会は、2022 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- 競技は、男女別 10 レーンで、タイムスケジュール通りに実施する。
- プログラム掲載の商標規定を遵守すること。高校名・スイミング名等の入った物は使用できない。
- FINA マークが剥離している水着を着用する場合は、プログラム付属の FINA マーク剥離届を必ず事前に記録室に提出し、審判長の許可をもらうこと。なお提出の際、選出している学連委員が同伴すること。
- 招集は、場内通告で案内する。案内があるまでは控え場所で待機すること。
- リレー種目は、招集所で本人確認を行う。顔写真入の学生証もしくは公的証明書を持参すること。
- 棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当該競技開始 1 時間前までに招集所に届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料 3,000 円を徴収する。
- 競技はオーバーザトップ方式とする。泳ぎ終えた選手は次組スタート後、自レーンより退水すること。但し、背泳ぎとリレーは泳ぎ終えた選手から自レーンより退水すること。
- リレーオーダーは下記の時間までに記録席に提出すること。提出締切時間を過ぎた後は一切受け付けない。リレーオーダーは、当日オープンを含めて本大会にエントリーした選手から構成すること。

種目	第1日目	第2日目
女子・男子 4×100m フリーリレー	14:30	
女子・男子 4×100m メドレーリレー		9:30
女子 4×50m, 女子・男子 4×200m フリーリレー		14:00

- (10) 当日オープン参加希望者は、「当日オープンエントリー申込書」に必要事項を記入し、4月22日(金)正午までに情報システム委員会:<info.kcsa@gmail.com>に送付すること。期限以降は一切受け付けない。申込費は、大会終了後、正式エントリー費と合わせて競技会要項に記載した口座へ振り込むこと。

3. 入館・退館について

- (1) マスクを着用し、健康観察票を手を持っておくこと。また、手指のアルコール消毒に支障をきたさないよう、手持ちの荷物は最小限に止めること。
- (2) 入場時の検温で37.5℃以上あった場合は、別の場所で再度検温する。再度37.5℃以上あった場合は入場できない。
- (3) 入館後の一時退館・再入館を認めるが、その場合は退館時に【再入館票】を必ず受け取ること。その後、再入館する際は、【再入館票】を提示し、再度手指のアルコール消毒を受けること。なお、【再入館票】の提示がない場合は、再度、健康観察表の提出を求めることがある。
- (4) 本大会は無観客とする。選手・チームスタッフ以外は入館できない。ユニフォームは、監督やコーチを含め、必ず所属する学校のものを着用すること(スイミングクラブ・高等学校のものなどは認めない)。
- (5) 第1日目は9:30、第2日目は8:45より入館できる。出場種目が午後の時間帯に限られる選手およびチームスタッフは、午前競技終了以降の入館を推奨する。また、第1日目は17:00、第2日目は16:30に閉館する。競技終了後のクールダウンを認めるが、閉館時刻までに退場すること。
- (6) 入退館は2階入口を使用すること。
- (7) 「健康観察表」の提出について
 - ① 参加者は、入館2週間前から毎日体温を測定すること。
 - ② 当支部ホームページからダウンロードした「健康観察表」に、事前に必要事項を記入すること。

4. プールの使用について

- (1) 選手は、プールサイドに出るまでマスクを常時着用しておくこと。
- (2) 自身の荷物は持参した袋にまとめて、プールサイドに設置した荷物台に置くことができる。なお、荷物台は次亜塩素酸を用いて定期的に消毒するが、色落ちなどが生じても当支部は責任を負わない。
- (3) アッププールは、開門から閉門まで終日使用できる。競技終了後のクールダウンを含めて、閉館時間までに全員が退館すること。
- (4) 練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。
- (5) フィン、パドル、プルブイ、シュノーケル等の道具の使用は禁止する。
- (6) ダッシュレーンを除き、必ず足から入水すること。飛び込みは禁止する。
- (7) 練習時の大きな声での指示は控えること。ホイッスルは、電子ホイッスルに限り、使用を可とする。
- (8) メインプール
 - ① 水深は競技開始前1.4m、開始後2.0m、水温は27.5℃に設定する。
 - ② 競技会前のレーン指定は次の通りとする。
 - 0レーン：ペースレーン(クロールスイムのみ使用可)
 - 1～7レーン：フリーレーン
 - 8～9レーン：ダッシュレーン ※利用人数によりレーン数を拡大する。
 - ③ 昼休みのレーン指定は次の通りとする。
 - 0～7レーン：フリーレーン
 - 8～9レーン：ダッシュレーン ※利用人数によりレーン数を拡大する。
 - ④ 公式スタート練習は、以下の時間に実施する。
 - 第1日目：10:25～10:55
 - 第2日目：9:40～10:10

5. 館の使用について

- (1) 入館から退館までの全ての場面で、人との距離（2 m以上）をとって行動すること。選手控え場所で、人との距離・座席間の距離を保つこと。
- (2) 場所取り入場は行わない。
 - ① メインプール観客席を控え場所とする（割り振りはプログラム参照）。ウッドデッキを使用する学校は、座面の隙間に貴重品等の小物類を落とさないように十分注意すること。館内、水泳場敷地内（駐車場を含む）での場所取りは全て禁止する。但し、電光掲示板下の通路にストレッチ・ドライランドを行えるストレッチエリアを設ける。
 - ② ストレッチエリア使用時には、各自で消毒等を行うこと。
 - ③ ストレッチエリアは、同時に使用できるのは1区画につき1人とする。譲り合って使用すること。また、ストレッチ・ドライランドでの使用のみとし、それ以外の目的（食事や睡眠など）での使用や、敷物や荷物等での占有は禁止する。敷物や運動用具等は、「大会の参加に当たって」(13)で定めた”持ち込みできないもの”に該当しないものを準備すること。指示に従わない場合、当該チームの使用を禁ずる、または開放を全面中止する。
 - ④ 利用した場所は、各学校の責任において消毒してから帰宅すること（受付に消毒スプレーを準備する）。なお、更衣室、招集所、出入口のドアなど共用部は大会主催者が消毒を行う。
- (3) マネージャー席およびビデオ席を含めて、座席は必ず1席以上空けて着席すること。他人と隣り合う席に荷物は置いてよい。ビデオ撮影を除いて、観客席および通路での立ち見を禁止する。
- (4) 会場内では、インシューズが使用できる。
- (5) 会場内にゴミ箱は設置しない。ゴミは各自で管理し、必ず持ち帰ること。
- (6) 会場内でのテープ類の使用は、養生テープのみ許可する。
- (7) 会場内の柵、手摺等に、濡れている物を置くこと、吊るすことは禁止する。
- (8) 競技中のプールサイドでの撮影や、フラッシュを使用した撮影は禁止する。
- (9) 新型コロナウイルス感染対策の観点から、「大会の参加に当たって」(13)に該当しない物であっても、持ち込みおよび使用は不適切と判断した物は、その使用を禁止し、翌日以降は持ち込みを認めない場合がある。
- (10) 館内、水泳場敷地内（駐車場を含む）におけるチームや個人選手付トレーナーの活動に関して、用手接触を伴うマッサージやパートナーストレッチなどは禁止する。
- (11) 更衣は、更衣室を使用できるが、ロッカーは使用できない。置き荷物は忘れ物として取り扱い、競技会終了後に残った忘れ物は大会主催者にて処分する。また、更衣室を待機や食事場所とすることはできない。利用者は、更衣を済ませたら速やかに退室すること。
- (12) 状況によっては更衣室の利用人数を制限することがある。更衣は短時間で済ませるようにすること。また、選手以外の更衣室への立入を禁止する。
- (13) 更衣室のトイレを使用する際は、インシューズから備え付けのスリッパに履き替えること。
- (14) 泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・観客席・プールサイド・トイレなど）。招集所の中においても原則としてマスクを着用すること。但し、キャップ着用時などレース準備のために一時的に外してもよい。入場して自レーンに着いてからマスクを外すことができる。レース前に外したマスクは、服のポケットか袋に入れること（マスクは、選手イス・スタート台後方の荷物台に直接置かないこと）。
- (15) 選手は、更衣室や招集所、レース後の選手間の会話を控えること。
- (16) プールでの練習中、レース後など、マスクを着用しない選手と会話する管理者・付添者は、マスクに加えフェイスシールドまたはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (17) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (18) 食事は、スタンド観客席で、人との距離を2 m以上保ち単独で摂ること。ドリンクの回し飲みはしないこと。
- (19) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。ワンプ、円陣、ハイタッチは禁止する。また、メガホンおよびエアホーン等の鳴り物は持ち込んではいならない。
- (20) 部旗は、1校1枚に限り掲出できる（横断幕、のぼりは、持ち込んではいならない）。掲出できる場所は、電光掲示板下の通路の手摺とし、部旗の大きさによっては掲出できる場所を限定する場合がある。掲出する際、跡が残らないようにガムテープは使用しないこと。

- (21) 会場内外でのミーティング等は控えること。
- (22) その他、会場動線に記載の注意事項を順守すること。

6. その他

- (1) 自家用車での来場は禁止する。公共交通機関を利用すること。
- (2) 貴重品は厳重に管理すること。会場内で盗難が発生した場合にも当支部は責任を負わない。
- (3) マネージャー会議を第 1 日目は 10:00、第 2 日目は 9:15 (受付は両日とも 5 分前より開始) より 2 階ロビーにて行う。【参加団体同意書】を持参すること。
- (4) 招集所には、招集を受ける競技者以外は立ち入りを禁ずる。
- (5) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (6) プログラムは販売しない。当支部ホームページで確認すること。
- (7) 公式掲示板は設置しない。競技結果は当支部ホームページで確認すること。
- (8) 日本水泳連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン【2021 年 3 月 16 日改訂版】」を順守すること。競技会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。
- (9) 退館後 10 日以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、当支部事務局：<secretariat@swim-kansai.com>へ濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (10) 全ての大会参加者は、大会期間中の行動を記録しておくこと。(例えば、会場内での移動場所および時間帯。さらに、スタンドや選手控え所での座席位置等)
- (11) 入場時に「入館できない条件」に該当した場合は、医師の判断を仰ぎ関係各所に連絡をする。
- (12) コロナ禍での大会開催を鑑み、居住地や宿泊地と会場の移動時、夜間の外出や食事等、感染症対策に則った行動をとること。大会終了後の帰宅途中において、懇親会等の食事を伴う会合は控えること。
- (13) 大会期間中、大会参加者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、その時点で大会を打ち切る。その場合、実施済み種目分の申込金のみを徴収する。なお、中止や打ち切りとなった場合でも、大会参加に伴い発生した各種費用は当支部で負担しない。

7. 申込取り消し手続きについて

- (1) 以下に該当する学校は、大会への参加を認めない。(3)に従って申込取消しの手続きを行うこと。
 - ① 所属する学校が出場を許可しない場合 (キャンパスや学部単位に指示された場合は該当選手のみ)。
 - ② 所属する学校単位に、来場初日から遡って 7 日前以降にチーム内 (選手その他、マネージャーなどチームスタッフ名簿に記載した者) に感染者が確認された場合。
但し、個人単位で以下の条件を全て満たす者は、参加 (入館、出場) を認める。
 - A) 所属する学校が出場を許可している
 - B) 疫学調査が完了し、濃厚接触者に指定されていない
 - C) 入館 72 時間以内にウイルス検査を実施し、陰性が確認されている
- (2) (1)に該当しない場合であっても、来場初日から遡って 7 日前以降に以下の事項に該当する者は来場を禁止する。
(3)に従って申込取消しの手続きを行うこと。
 - ① 平熱を超える発熱
 - ② 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ③ だるさ (倦怠感) や息苦しさ (呼吸困難)
 - ④ 嗅覚や味覚の異常
 - ⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けた方との濃厚接触がある場合
 - ⑥ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ⑧ (本項に限り来場初日から遡って 14 日前以降に、) 政府が入国制限・入国後の監察期間を必要とする国・地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合

- (3) 申込締切日から大会当日までに、上記(1)、(2)に該当する理由で申込みを取り消す場合、監督または部長が当支部事務局：<secretariat@swim-kansai.com>および情報システム委員会：<info.kcsa@gmail.com>へメールで報告すること。事務局にて申込取消しに該当すると判断した場合は申込金を請求しない。

8. 資料に関する問合せ先

(公財) 日本水泳連盟学生委員会 関西支部 大会運営委員会

担当： 中道 理央 <swim.kansai@gmail.com>

以上